

今後の進め方について

令和6年1月

農林水産省

みどりの食料システム戦略グループ

環境負荷軽減の取組の「見える化」の今後の進め方

- 本格実施に向け、新たなラベルデザインの決定と、ラベル表示に係るガイドラインを策定するとともに、生産者・事業者に対する算定支援や販売資材の提供と川下への働き掛けによる露出拡大、消費者の認知拡大に向けたSNSやメディアを活用した情報発信の強化等を実施。
- 生物多様性については、次年度以降、モニタリングの実施等により取組を行った地区での保全効果の検証を実施。

本格実施に向けたスケジュール

2月	フードサプライチェーンにおける脱炭素化の実践とその可視化の在り方 検討会（ガイドラインについて議論）
2月29日	第3回生物多様性保全の見える化技術検討会 （生き物調査の考え方等について議論）
2～3月	ガイドライン・新ラベルの公表
年度内	ガイドラインに基づく新ラベル貼付スタート （報告受付、登録番号付与の開始）

ラベル拡大に向けた取組

（ラベル全体）

- 生産者・実需者に対する算定支援や販売資材の提供
- 川下への働き掛けによる露出拡大
- 消費者の認知拡大に向けたSNSやメディアを活用した発信の強化

（生物多様性）

- 実施地区におけるモニタリング等による効果検証